

雨の見張り番

レーダ雨量計とは

どのくらい雨が降っているかは、雨量で表します。

雨量は、降った雨がたまつた場合の水の深さ(mm)で

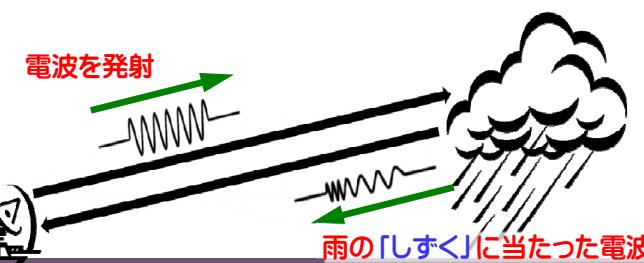
表し、通常「転倒(てんとう)ます型雨量計」で降った雨を直接集めて測ります。

このため、「転倒ます型雨量計」を設置していない場所の雨量は判りません。

「レーダ雨量計」は、電波を雨の「しづく」に当て、はね返ってきた電波から、はなれた場所の雨量を測る装置です。



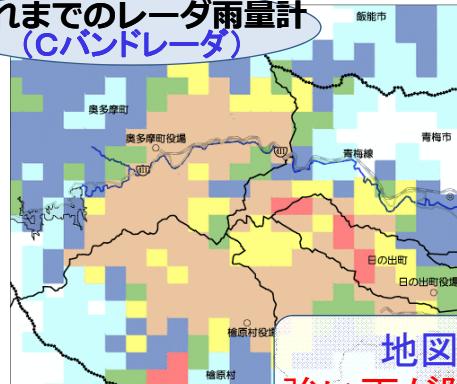
雨量を直接測る
「転倒ます型雨量計」
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/uryou/uryou.pdf>



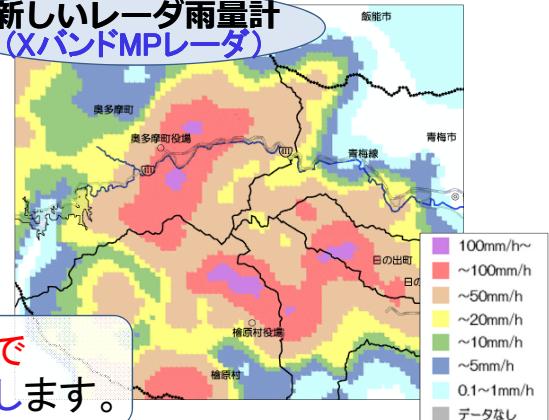
レーダ雨量計の整備

レーダ雨量計は、電波の種類によって、観測できる広さや細かさが異なります。国土交通省では、日本全国の雨をくまなく測るために、26基のCバンドレーダ雨量計を整備しています。これに加えて、局地的大雨(いわゆるゲリラ豪雨)を測るために、よりきめ細かく、短い時間で雨を観測できるXバンドMPレーダ雨量計を、都市部を中心に39基整備しました。

これまでのレーダ雨量計
(Cバンドレーダ)



新しいレーダ雨量計
(XバンドMPレーダ)



地図の上の色のちがいで
強い雨が降っている地域を示します。

新しいレーダ雨量計の整備により、雨の強さや降っている場所をより細かく、より正確に、より早く、知らせられるようになりました。このような雨の情報を水害の軽減に役立てています。

自分の街の雨の様子を見てみよう！

 **XRain** 【拡大試行版】
eXtended RADar Information Network

